

平成29年2月13日

杉並区議会議長

井口 かづ子 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会

委員長 横山 えみ

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成28年12月5日

(1) 報告聴取

ア 文化・芸術振興審議会における文化プログラムの検討について

(ア) 文化・芸術振興審議会

区長の附属期間として、文化・芸術に関する必要な事項を調査審議するために設置。これまで区の新たな文化・芸術活動助成のあり方について答申が出ている。委員構成は、文化・芸術活動関係者6名、学識経験者1名、その他区長が適当と認める者3名とのこと。

(イ) 文化プログラムの検討経過

平成28年7月に審議会委員を委嘱し、「東京2020アクション&レガシープラン」を配布。その後10月に、「東京2020アクション&レガシープラン」の内容を踏まえて自由討論を行ったとのこと。

(ウ) 第2回文化・芸術振興審議会での主な意見

「レガシー」を「感動（体験）」と捉え、子ども達に感動（体験）を提供していく、などの意見があったとのこと。

(エ) 今後の予定

平成29年1月、4月、6月と審議会を開催し、文化プログラムについての意見集約を図るとのこと。

(オ) 東京大会 2020 に向けた新たな取組

平成 28 年 11 月 5 日、6 日に西荻地域区民センターで『『オリパラソル』をつくろう』という事業を実施。会場を訪れた子ども達が東京オリンピック・パラリンピックへの思いを傘に書き、自分だけの「オリパラソル」を作った。今回作成した一部のオリパラソルについては、東京オリンピック・パラリンピックに関連したイベントなどで活用していくとのこと。

イ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた参画プログラム等の取組について

(ア) 東京 2020 参画プログラムの取組

大会組織委員会は平成 28 年 10 月から、大会エンブレムを使用可能な団体・組織が実施するイベントなどを認証する参画プログラムを開始し、平成 29 年度から対象を拡大して本格実施するとのこと。

対象イベント・事業は、「大会ビジョン」と「アクション&レガシープラン」のコンセプトに合致するイベント・事業であり、実施主体は自治体や非営利団体等。認証された事業の実施主体について、周知用のチラシなどへエンブレムの使用が認められる。エンブレムは実施主体により異なる 2 種類があるとのこと。

(イ) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

東京都はオリンピック・パラリンピックフラッグのレプリカを 2 組製作した。平成 28 年 10 月から、都内の区市町村で巡回するセレモニーとフラッグ展示を開始しているとのこと。

フラッグツアーの都内の巡回順序は、1964 年東京大会の聖火リレーコース等を参考として設定された 2 ルート。杉並区については平成 29 年 5 月 20 日にセレモニーを行い、5 月 22 日から 25 日まで区役所本庁舎にてフラッグを展示するとのこと。

セレモニーについては区が実施会場などをまず決め、その上で東京都の委託事業者等と詳細を決定する。フラッグ贈呈式にはオリンピックアンなどが派遣される。またセレモニー会場にて、公式オリジナル商品の販売を検討しているとのこと。

ウ 平成 28 年度「交流自治体中学生親善野球大会」の実施報告について

(ア) 目的

中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深めることを目的としている。

(イ) 参加自治体

杉並区、台湾台北市、南相馬市、名寄市、南伊豆町、そして東吾妻町が初参加であるとのこと。

(ウ) 実施日及び内容

10月8日に杉森中学校にて学校交流を行い、立正佼成会普門館地下ホールにて中学生交流夕食会を行った。また10月9日から10日にかけて、西武プリンスドーム球場及び上井草運動場で親善野球大会を実施し、10月9日に日本文化体験として、杉並会館で様々な催しを行ったとのこと。

(エ) 参加状況

杉並区と台湾台北市が2チーム作り、6自治体8チームが参加したとのこと。

(オ) その他

今大会の報告書を作成し、平成28年12月20日に、報告会を実施とのこと。

2 平成29年1月16日

(1) 委員の派遣

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組、スポーツ推進に関する取組を視察するため、以下の場所に委員を派遣した。

ア 大田区役所（大田区蒲田五丁目13番14号）

イ 大森ふるさとの浜辺公園（大田区ふるさとの浜辺公園1番1号）